

鳴門市撫養小学校

なると環境スクール活動報告書

学 校 名		撫 養 小 学 校		
活 動 実 績				
項 目	実施内容	時 期	対 象	備 考
○節電・節水	○節電・節水を呼びかけるポスターを掲示し、各学級に呼びかけを行った。 ○節電・節水や環境を守る取り組みについて話し合い、朝会で発表した。 ○電気使用量・水道使用量を示すグラフを児童玄関に掲示した。 ○業間・休み時間・教室移動時にはこまめに電気を消し、電気の無駄遣いをなくすようにした。 ○給食後、バケツに水を溜めて牛乳パックを洗った。	7月 6～7月 通年 通年 通年	環境委員会 環境委員会 環境委員会 全校 全校	
○ゴミのリサイクル	○燃えるゴミ・燃えないゴミのゴミ箱を用意しゴミの分別を徹底した。 ○古紙を再利用しゴミを減らす工夫をした。	通年 通年	全校 全校 環境委員会	
○資源ゴミ回収	○校内・家庭での資源ゴミを回収し、業者に引き取ってもらった。	6・8月	全校 P T A	
○環境美化	○毎朝、6年生が3L活動の一環として校庭・玄関の清掃をした。 ○プランターや花壇に花の苗を植えた。 ○学級園に花の苗を植えた。	通年 5・10月 4・12月	6年 P T A 全校	
○野菜の栽培活動	○学級園で夏野菜を栽培した。	5～9月	2・4・5・6年 特別支援学級	

○環境学習	○生活科・社会・理科・総合的な学習などにおいて身近な地域の環境や環境問題について調べたり考えたりして自ら環境に働きかける意欲をもつことができた。	通年	全学年	
○地球環境について考えよう	○総合的な学習の時間にくらしと地球環境について考えた。また、EMの有効性について学習し、丸池やプール清掃などに使用した。	4月 ～ 6月	3・5・6年	

成 果

- ・朝会で発表を行ったり、各学級に掲示物で知らせる活動をしたりして、環境問題について考える機会が増え、自分にできることをしようという意欲が高まった。
- ・低学年においては、生活科や図工科の材料集めの活動で、家での不用品が学習に生かせることを知り、意欲的に家庭にあるものを大切に、学習に生かしていこうとするようになった。
- ・校内・家庭の資源ゴミ回収や・花植えなどの環境美化に多くの保護者の参加・協力があつた。資源ゴミ回収には子どもたちも加わり作業を進め、ゴミの分別意識が高まった。
- ・学校便りなどを通して、家庭や地域の環境に関する意識も高まった。
- ・毎月の電気・水道使用量および使用料金をグラフにして掲示させることで、節電や節水に対する意識が高まってきた。また、昨年度の資料と比較することで、目標が明確になり意欲につながった。
- ・「電気・水道の節約」「ごみの減量」「環境美化」などに取り組む記録を掲示すると、視覚化され校内の共通理解を図ることができた。
- ・委員会で取り組みの成果や課題などについて話し合う機会をもつことで、児童が主体的に課題について考え、課題解決に向け意欲的に取り組むことができるようになった。

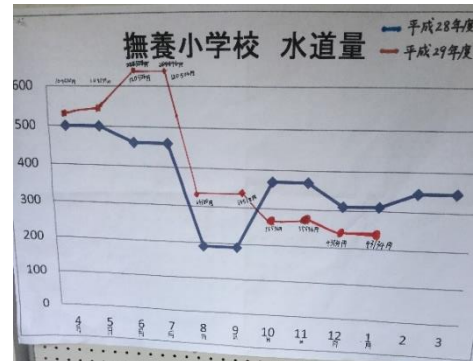
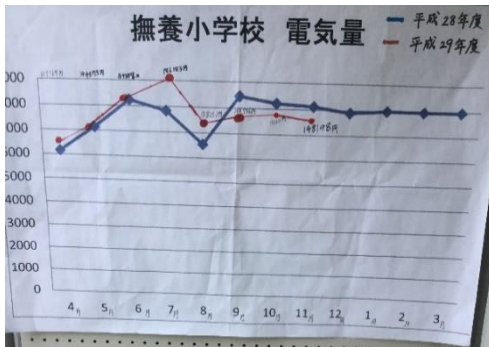
次期計画への課題・問題点

- ・引き続き紙類の無駄遣いに心がけ、分別やリサイクル・減量に努める。
- ・教室内でもゴミの分別の意識が徹底できるような取り組みを増やす。
- ・年間を通して、より節電・節水の意識を継続できるような工夫を行う。
- ・牛乳パックを洗う際に、バケツに水が残ってしまうので、水道の使用量をより減らせるよう水を入れる容器等の工夫を行う。

実施状況報告書

○光熱水費使用状況について

- ・毎月ごとの使用量を委員会で調べ、グラフにして掲示を行った。
- ・電気や水道の使用量について調べたことや守って欲しいことをポスターにまとめ、全校に見てもらえるよう玄関に掲示した。
- ・使用量に加え、電気代と水道代を記入し、全学年が分かりやすいようにした。



○環境美化について

- ・6学年を中心に3L活動を使い、清掃や挨拶運動を行った。
- ・年に1回、家庭や地域の方々と愛好作業を行った。
- ・年に3回程度、学校や家庭、地域からごみを回収した。



○環境学習について

- ・全学年が再利用可能な紙をリデュースボックスに入れ、印刷用紙やメモ用紙にした。
- ・全学年で学級園に花や野菜を植え植えた植物を理科の観察等で学習の教材として扱った。
- ・3年生がEM（有用微生物群）を培養し、プール清掃に使用した。



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		林崎小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○EM 液の有効性	○プール等の清掃に使用した。	6月	高学年	ボランテ ィア川東
○水尾川の浄化 活動	○地域の方との EM 団子作りを行い、そ の後、川に投入し、水質浄化に努めた。	6~7 月	4年生	
○環境学習	○クリーンセンターの見学・体験活動	5月	4年生	
○紙ゴミの減量	○古封筒・紙の裏等の再利用や古紙回収 を行った。	通年	全校	
○児童会活動	○環境委員会が全校集会でごみの分別 方法を説明し、ごみの分別を徹底した。	7月	全校	環 境 委 員 会
	○廊下の掲示板の環境コーナーに、活動 方針や取り組みの様子や電気・水道の使 用量を掲示した。	通年	全校	
	○栽培委員会や各学年で、季節の花を栽 培し緑化を推進した。	通年	全校	
○立岩集会所周 辺の美化活動	○地域の人や保護者とともに、清掃活動 を行った。	6月 10月	どんぐり 子ども会	
○季節の花や野 菜の栽培	○各学年、栽培委員会で季節の花や野菜 を育てた。	通年	全校	

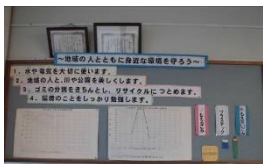
成 果

- EM 団子作り・川への投入，EM 液を使ったプール清掃，立岩集会所周辺美化活動等には，地域の多くの方の協力をいただいたことで，校区の環境美化への意識を高めることができた。
- 教科等で，環境問題について考える取り組みが定着してきた。特に，4年生の総合的な学習の時間には，地域ボランティアの方とともに，見学・体験活動に取り組み，環境保全の大切さを実感することができた。
- 環境委員会が中心となり，廊下掲示板に電気・水道の使用量のグラフを作り掲示した。また，全校児童に，ごみの分別を呼びかけ，ごみを集める際の分別の意識が高まった。
- 職員が率先して，用紙の裏面の使用，封筒の再利用，紙ごみの再利用や節電に努めた。

次期計画への課題・問題点

- 昨年度と比べ，水道使用量が増加傾向にある。これには，外トイレの配管の故障による漏水も含まれるが，蛇口の閉め忘れやきちんと閉めることができていないことがわかった。委員会活動や職員が率先して止水の確認をしていきたい。一方で電気使用量は減少傾向にある。しかし，1月からエアコンの使用が始まるため，今後も節電の声かけを継続していきたい。
- 環境委員会からごみの分別を呼びかけたことで，気をつけて分別をするクラスが増えた。しかし，全てのクラスが行えているわけではないので，今後も委員会での呼びかけを続けていきたい。
- 年間計画を見直し，県環境アドバイザー派遣制度を活用する等，関係機関との連携を図り，さらに環境教育について意識を高める実践を組み込んでいきたい。

① 学校全体・児童会の取組



環境掲示コーナー



環境委員会からの呼びかけ



クリーンセンターでの学習・牛乳パックを使ってのはがき作り体験（4年生）





季節の花や野菜の栽培

② 地域との連携



EM だんごづくり（地域の方々に教えていただいて）



水尾川に投入（４年生）

平成29年

電気使用量（kwh）

水道料（立方メートル）

1月	9, 218
2月	9, 925
3月	8, 965
4月	7, 426
5月	8, 298
6月	8, 809
7月	9, 268
8月	7, 957
9月	8, 351
10月	8, 807
11月	8, 199

1月	600
2月	600
3月	651
4月	651
5月	774
6月	775
7月	1, 870
8月	1, 871
9月	531
10月	531
11月	232

鳴門市黒崎小学校

なると環境スクール活動報告書

学校名		鳴門市黒崎小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
1 活動方針の説明	節水・節電の呼びかけ 職員会での確認	4月	全校	
2 各教室のゴミの処理	ストックヤードでのゴミの種類の確認	通年	全校	用務員
3 校庭の清掃	堆肥づくりと活用	通年	全校	くすのは清掃
4 資源ゴミのリサイクル	地域子ども会活動 新聞 ダンボール 空き缶等	通年	子ども会	子ども会
5 クリーンセンターの見学	社会科	10月	4年	
6 校舎内外の美化活動	生け花 玄関 プランターでの栽培	通年	婦人会 栽培委員会	
7 清掃用具の管理	清掃用具の点検と整備 用具に紐を付け、フックにかける	通年	環境体育 委員会	
8 ポスターコンクール	3R推進ポスターコンクール作品制作・出品・掲示	8月	4年	
9 学校近隣環境調査と浄化	EMを使ったプール清掃	6月	4～6年	
10 節水	節水カードによる呼びかけ	通年	全校	黒崎自治会
11 節電	点灯時間帯の表示 こまめな消灯 使用量のグラフを環境体育委員会が朝会で発表（節水・節電）	通年	全校	
12 大掃除	節目節目の環境美化	学期末	全校	
13 環境学習	環境問題について学ぶ	通年	4～6年	
成 果				
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年引き続き、水道付近に節水カードを作成・掲示したことで、子どもたちは水の使いすぎに気をつけるようになっていた。また、節水カードがあることで、職員も指導がしやすくなった。 ・クリーンセンターの見学や各学年での環境学習により、ゴミの減量や分別に対する意識を高めることができた。 ・職員間では、夏のクーラー、冬のストーブの使いすぎや温度設定に気をつけたり、印刷機を使うときは裏紙を使ったりと、普段できることを意識しながら取り組むことができた。 				
次期計画への課題・問題点				
<ul style="list-style-type: none"> ・節水・節電に関しては、意識の高まりは感じられたものの、グラフでの掲示や報告が十分にできなかった。 ・朝会等の機会を活用して、全校児童に向けてゴミ問題や環境問題について呼びかけることで、ゴミの減量や分別、リサイクル等にも目を向けられるようにしていきたい。 				

平成29年度における環境学習・環境保全の状況報告書 及び光熱水費の使用状況報告書

(1) 環境学習・環境保全の状況

① 節水・節電



節水カード



点灯時間の表示

昨年度に引き続き、環境体育委員会が節水を呼びかける節水カードを作成し、校舎内にある全ての水道に掲示を行った。子どもも職員も、節水・節電を意識が高まっているように感じる。

② ごみの分別 リサイクル



ごみの分別



廃品回収 (子ども会)

教室に設置しているゴミ箱に、ゴミの種類とどのようなものが含まれるかを書いた紙を貼り付け、子どもが自分でも分別ができるようにした。

リサイクル活動については、各子ども会が空き缶やダンボール、新聞紙や古紙などを年間数回程度回収している。

③ 環境学習 地域との交流



ゴミ処理の見学
(クリーンセンター)



EMを使ったプール清掃
(黒崎自治会)



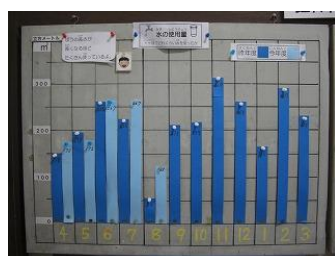
地域の美化活動
(黒崎花街道クラブ)

社会科の学習に関連し、4年生がクリーンセンターを訪れてゴミ処理の様子を見学した。その他にも、牛乳パックを利用した紙すき体験も行った。

プール清掃では、毎年プールの水を抜く前に、黒崎自治会の方がプールにEMを投入してくださっている。環境にやさしく汚れも落ちるため、水を抜いた後も壁面や床面を磨くのにEMを使用している。

また、地域の美化活動の一環として、黒崎花街道クラブの方々が植えた花に触れる機会が多い。自分が住む町には、きれいな花をいっぱい育て、植えてくれている人がいることを知り、地域への愛着をもつことにもつながっている。

(2) 光熱水費の使用状況



水道使用量



電気使用量

昨年度の使用量と今年度の使用量を棒グラフで比較している。1階廊下にすることで、気にしている児童も多い。今年度は十分に掲示できなかったので、来年度の課題としたい。

鳴門市桑島小学校

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名	鳴門市桑島小学校			
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ドングリ拾いと自然観察 （森林自然観察会）	○鳴門公園の自然について、2人の講師先生のお話を聞き、実際に見たり触れたりして学習することができた。採取したドングリを各自が栽培・観察を3年間継続し、6年生の3月に植樹を行う予定である。	11月21日	3年生	
○EMによる校内清掃	○市の提供を受けたEMを使用し、自然にやさしいプール清掃や児童活動室の清掃を行った。	6～10月	全校	
○異学年班による清掃活動	○異学年班で、朝の活動の時間を利用し、学校敷地内の清掃活動を行った。	通年	全校	
成 果				
<p>○長年取り組んでいる活動を主として活動している。そのため、活動が一年間のみで終わることなく、小学校6年間を見据えた活動となり、子どもたちの環境に対する意識の高揚につながっている。</p> <p>○学年ごとの環境学習内容を共有することができており、系統的に学習することができている。</p> <p>○各種団体の協力がより学校内の学習でとどまることなく、校外へと学習の幅が広がっている。</p>				
次期計画への課題・問題点				
○体験的な学習が体験に終わり、日常の行動に結びつかないことがある。より実践力を伸ばす工夫改善が必要である。				

○環境学習・環境保全の状況

【異学年班による清掃活動】

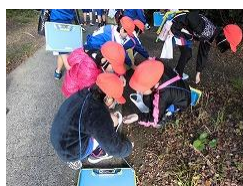


【EMを使っでの児童会室清掃】



【森林自然観察会】

・どんぐり拾いと自然観察（3年）



・どんぐり植樹（6年）



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市第一小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○水質汚濁を考 える会	○4年生 65名が新池川の水質調査を 行い、環境について学習した。	6月	4年	県土整備局 市下水道課の 支援 クリーンセン ター
○クリーンセン ターの見学	○4年生 64名がクリーンセンターを 見学し、ゴミ処理やリサイクルにつ いて学習した。	10月	4年	
○資源ゴミのリ サイクル	○保護者・地域の方一体となった空 き缶、新聞紙等のリサイクル活動を 行った。	年 3 回	校区 一円 全校	
○排出ゴミの減 量	○家庭の空き缶については、毎週空き 缶デーを設け、リサイクルに努めた。	通年	全校	
○節電	○教室でもゴミ箱を分け、分別を行 うことでゴミ減量に努めた。	通年	全校	
○テープの巻心 回収	○使っていない教室やトイレ、階段 などの節電に努めた。節電のポスタ ーを環境委員会の児童が作成し、節 電を呼びかけた。 ○テープの巻心を回収して、ニチバ ン ECO プロジェクトに参加した。	11月	全校	
成 果				
<p>○資源ゴミ回収では、毎回多くの保護者、地域の方、教職員が参加し、リサイクル活動への意識が向上した。</p> <p>○節電ポスターを目につくところに掲示することや朝会で節電をよびかけることで、児童の意識を高めることができた。</p> <p>○環境についての学習に外部講師を招き実施することで、地域の環境の実態を知り、自然を大切にしていこうとする意識が育った。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>○学校便りや学校ホームページなどの活用をはかり、活動を家庭や地域に周知する。</p> <p>○こまめに電灯を消したり、蛇口を閉めたりする意識を徹底し、さらに節電・節水に努める。</p>				

なると環境スクール実施状況報告書

鳴門第一小学校

1 地域と協力しての古紙、アルミ缶等のリサイクル活動

本校では6月、11月、3月に資源ゴミリサイクル活動を行っている。



- ・アルミ缶、古紙、古着、段ボールなどを保護者だけでなく地域全体に呼びかけて、リサイクル活動に取り組んでいる。
- ・PTA環境委員会を中心に、徳島新聞大津・南浜販売所の方々の協力も得ながら、回収作業を行っている。
- ・収益は、教育環境の整備やPTA活動等に還元している。

2 校内空き缶デー

- ・毎週火曜日を「校内空き缶デー」とし、各家庭にあるアルミ缶とプルトップを福祉委員会が回収している。
- ・持ち寄られたアルミ缶はやプルトップは袋にまとめて、倉庫に保管し、リサイクルされる。
- ・アルミ缶やプルトップが800キロ集まると車いすに交換して、地域の福祉施設に寄付している。



3 校内環境の整備

節電についての取り組み



・廊下や階段、各教室に節電ポスターを掲示したり、環境委員会が見回りをしたりして、節電を呼びかけている。

・使用していない教室やトイレ等の電気をこまに消すように指導し、節電に努めている

4 環境に関する学習、活動

環境に関する学習を行ったり、地域の方と環境を守る活動を行ったりしている。

<4年生 クリーンセンター見学>



<4年生 水質汚濁を考える会 >



<緑のカーテン>



<全校 なかよし班清掃活動 >



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		里浦小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○節電・節水	○学校全体で、節電・節水に努める。	通年	全校	
○ごみの分別	○ごみの分別を徹底する。	通年	全校	
○リサイクル活動	○ペットボトルのふたとプルタブを集める。	通年	児童環境委員会	
	○不用になった制服を集める。	参観日	全校	
	○両面印刷や裏紙利用等に努める。	通年	P T A	
○プール掃除	○OEMを使ってプール掃除。	6月	教職員	里浦地区自治
○環境美化	○学校周辺や地域の公園の清掃をする。	5月	3年以上	振興会
		1月	全校	消防団
○除草・樹木消毒	○校庭の除草・樹木の消毒。	6月	6年	
		9月	P T A	
○クリーンセンターの見学	○鳴門クリーンセンターの見学。	9月	P T A	PTA 施設
	○見学から学んだことを新聞にまとめる。	9月	4年	委員会
○校庭の草抜き	○第2金曜日の朝 実施する。	通年	4年	
			全校	
成 果				
<p>○通学路となっている学校周辺の清掃を行うことで、児童に「自分たちの地域、自分たちの通学路」という意識付けになった。また、地域・保護者からも喜んでいただくことができた。</p> <p>○教室やトイレ、廊下など必要の無いときには、こまめに電気を消すよう呼びかけ、節電に取り組んでいる。不要な照明に気付き、電気のスイッチを切る児童の姿がよく見られる。</p> <p>○節水についても呼びかけ、全校で取り組んでいる。</p> <p>○家庭だけでなく地域の方にも呼びかけて協力してもらい、ペットボトルのふたやプルタブ集め等、共に環境を大切にする活動に取り組んでいる。毎年、たくさんの量をリサイクルに回すことができている。</p> <p>○地域の清掃活動を、家庭科や社会の学習を生かし、地域の方や保護者と共に行っている。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>○電気・水道使用量については、実際の数値の変化に表れていないのが現状である。今後は、現在掲示物で伝えている数値を、朝会等の機会に定期的に伝えたり、校内放送で呼びかけたりすることで児童に数値を意識させ、使用量を減らせるような啓発を行う。</p> <p>○このような取組を継続することで、地域の自然を大切にする心や環境に対する児童の意識のより一層の向上に努める。</p>				

里浦小学校・実施状況報告書（特色ある活動）

1 学校周辺の清掃

5月26日（金）にふれあい班（異学年集団）で学校周辺の清掃を行いました。運動場に集合し、校長先生のお話を聞き、環境委員会による分別の方法を聞いた後、保護者の方にも集まっていただき、活動しました。短時間でしたがとても美しくなりました。学校に集めたごみを持ち帰り、6年がゴミの分別・水洗い・片付けをしました。

子ども達の清掃後の感想には、「他の学年の人もお家の人も一生懸命ゴミを集めていたので前よりきれいになって気持ちよかった。」「これからも地域の環境を美しく守っていきたい。」と書かれていました。子ども達の感想と写真は廊下の掲示板に掲示しました。



開会式



学校周辺の清掃



学校周辺の清掃



学校周辺の清掃

2 暮らしとごみ（4年）

地域にあるゴミステーションに行って、地域の方がゴミをどのように分別しているのかを調べました。次にクリーンセンターの見学に行って、市内各所から集められたゴミの処理と利用について教えていただきました。また、出前授業を行っていただき、学習を深めました。ゴミ減量への意識が前よりも高まってきました。日常生活の中でも、物を大事に使うよ

うになりました。



クリーンセンター見学



出前授業

3 EMを使ってプールそうじ

EM発酵液を使って、たわしでこするとしつこい汚れがきれいに落ちます。またEM自体下水に流すことで、川や海の浄化にも役立ちます。

また、地域の方や消防団の方の協力もいただきながら、プール清掃を毎年行っており、環境美化が地域にも広がっています。



鳴門市鳴門東小学校

学校(園)名		鳴門東小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○リフレッシュ 瀬戸内	○全校児童で竜宮の磯へ出かけ、地域の方々や保護者と海岸清掃を行った。	6月	全児童 幼児	
○クリーンセンターで学ぶ	○クリーンセンターの見学やごみについての学習をとおして、環境を守ることの大切さを学習した。	10月	3・4年	
○植物の栽培	○学級園やプランターで、各学年の学習内容に応じた植物を栽培し、自然を大切にすることの育成を図った。	通年	全児童幼児 環境委員	
○環境学習	○総合的な学習の時間に、節電・節水・ごみ減量について学習した。鳴東祭りでは、総合的な学習の時間に学んだことを、保護者や地域の方の前で発表した。	通年	3・4年	
○ボランティア清掃	○始業前に自主的に清掃を行っている。		3～6年	
○アルミ缶の回収	○児童・保護者・教職員・地域の方々によるアルミ缶・ペットボトルキャップの回収を行っている。	通年	全児童	
○ごみのリサイクル	○ごみの分別を徹底し、古紙利用に努めている。	通年	保護者 教職員	
○節電	○休み時間や清掃時間など、使わない時間は電灯を消し、節電に努めている。	通年	全児童 教職員	
○節水	○歯磨きはコップを使ったり蛇口がきちんと閉まっているかを確認したりして、節水に努めている。	通年	全児童 教職員	
成 果				
<p>節電や節水への意識が高まり、教室やホールの照明を必要なときに必要な箇所だけつけることや、手洗い・歯磨きのときに水を止めることが定着した。各学年の教室に雑紙入れを設けて計算用紙に利用したり、家庭から古紙回収を呼びかけたりするなど、古紙の再利用やリサイクルへの意欲が高まっており、実践につながっている。リフレッシュ瀬戸内では、保護者や地域の方と共に海岸清掃を行った。たくさんのごみを見て、自分たちの地域の自然を自分たちで守るという意識が身についた。3・4年生が鳴東祭りでエコについて発表し、保護者や地域の方へも節電・節水・ごみ減量について呼びかけることができた。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>保護者・地域への発信をもっと広げ深めていく必要がある。 職員の間でも、さらに節電・節水の意識を高めて定着から徹底へと移行していく必要がある。</p>				

環境学習・環境保全の状況報告書及び光熱水費の使用報告書

1 環境学習・環境保全の状況報告

(1) リフレッシュ瀬戸内

2017年5月に、全幼児・児童が竜宮の磯に出かけ、市役所の方や地域の方、保護者の方々といっしょに海岸の清掃活動を行った。海岸で清掃の仕方や環境を守ることの大切さについての話を聞いた後、仲良し班(異学年グループ)に分かれて、担当班の教師と共に清掃活動に取り組んだ。

自分たちの地域の海岸を美しくしようと、友達と協力して一生懸命に働き、たくさんのゴミを集めた。燃えるゴミと燃えないゴミを意識して分別することもできた。集まったゴミを目の当たりにして、「ゴミをなくし、きれいな竜宮の磯にしていきたい。」という思いや、美しい鳴門の海を地域の方々といっしょに守っていこうとする意欲が高まっている。

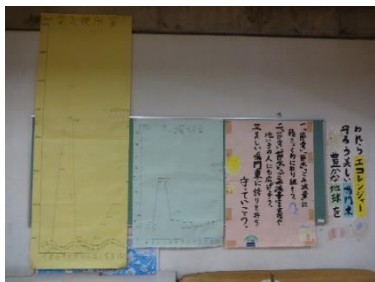


(2) エコレンジャー活動

3・4年生児童が総合的な学習の時間にエコをテーマに学習した。そして、「エコレンジャー」として、鳴東祭りで、全校児童や保護者、地域の方に向けて、学習したことを発表し、節電・節水・ごみ減量をよびかけた。

また、毎月の電気使用量と水道料金を昨年度と比較してグラフに表し、ホールに掲示した。

さらに、節電・節水・ゴミ減量を全校児童に、もっと知ってもらおうと、自分たちが調べた節電・節水・ゴミ減量の方法を伝える掲示物を作成し、校内に掲示した。



(3) 古紙の利用と資源ゴミ回収

古紙を利用したりリサイクルしたりできるように、職員室や教室に分別して置く場所を決めている。裏紙を利用して、教職員が文書を印刷したり、児童がメモをとったりすることが定着している。ポスターの裏も模造紙や画用紙の代わりとして掲示物に使用している。画用紙や色紙の切れ端もごみ箱に捨てずに、封筒に入れて古紙として回収してもらっている。保護者や地域の方の協力をいただき、アルミ缶やペットボトルキャップや新聞紙の回収も行っている。



(4) 朝のボランティア清掃

毎朝、高学年が中心となって、校庭やホールのボランティア清掃を行っている。草取りをしたり落ち葉を集めたりすることを通して、自分たちの環境をよくしていこうという気持ちが高まっている。季節によって変わる自然の変化に気づく豊かな感性を育てることもつながっている。



鳴門市鳴門西小学校

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市鳴門西小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○生ゴミのリサイクル	○EM を使って給食の残食・生ゴミの堆肥化を行い、花壇等に活用した。 ○ゴミの分別を徹底して行った。	通年	環境委員会・全校	
○ゴーヤの植え付け・棚作り	○ゴーヤの植え付けを行い、グリーンカーテンを作って温度上昇を抑えた。	5月～9月	4年	NPO 法人ボランティア鳴門西
○EM 活性液づくり	○EM 活性液をつくり、プール清掃などに利用した。	5月	5年	NPO 法人ボランティア鳴門西
○プール清掃	○EM 活性液を利用して、5・6年生がプール清掃を行った。	6月	5年6年	
○栽培学習	○アグリオの方から、身近な植物（香草）のことや大根の種のまき方を教えていただきました。	10月	2年	OAT アグリオ(株)
○幼小交流活動	○5年生と幼稚園児と一緒にパンジーの苗を植える活動を行った。	11月	5年	OAT アグリオ(株)
○クリーンセンター見学	○クリーンセンターの見学を通して、ゴミの処理やリサイクルについて学習した。	11月	4年	
○節電・節水	○環境委員会が全校児童に呼びかけることにより、節電・節水に取り組むことができている。	通年	全校	
成 果				
<p>低学年では、花や野菜の栽培活動を通して、自然に親しみながら身近な自然環境について考えることができた。中学年ではゴーヤを育てる活動や出前授業を行うことで、環境についての知識を高めることができた。高学年では、EM活性液を生活の向上に生かす活動を行うことができた。全学年において、発芽学習に合わせた環境学習ができ、環境に対する意識が向上してきている。</p> <p>また、環境委員会が中心となって給食から出る生ゴミの減量を行い、堆肥づくりに取り組んでいる。作った堆肥を学校園「鳴門西ファームぐんぐん畑」に埋め、栽培活動に役立てることができた。今年度は、OAT アグリオの方々にご協力いただき、さまざまな栽培活動を行うことができた。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>ゴミの分別は意識してできるようになってきているが、ゴミを減量しようという意識が低いように感じる。今後、少しでもゴミを減らすための方法を子どもたちと共に考え、取り組んでいきたい。</p> <p>電気・水道の無駄な使用がかなり少なくなっていると思われるが、さらに節電・節水に努めるよう効果的な啓発の工夫を考えたい。</p> <p>学校での取り組みをホームページ等で保護者や地域の方に発信し、地域の環境に対する意識を高めていきたい。</p>				

実施状況報告書

1 環境委員会の活動

環境委員会を中心に、EMを使って給食の残飯・生ゴミの堆肥化を行い、学校園等に活用している。全校児童に「ゴミの減量」「節電」「節水」「環境美化」を呼びかけている。



2 ゴーヤの植え付け・棚作り

NPO法人ボランティア鳴門西の協力を得て、4年生がゴーヤの苗を植え、グリーンカーテンを作って温度上昇を抑えている。



4 プール清掃

EM液を利用して、5・6年生がプール清掃を実施した。



5 栽培学習（香草についてのお話・大根の種まき）

OATアグリオ(株)の方から2年生が身近な植物について教えていただいた。いろいろな植物を知り、触れて、育てる体験を通して、いつも食べている野菜などをもっと身近に感じ、植物や栽培に興味をもつことができた。





6 幼・小交流活動（パンジーの苗植え）

5年生と幼稚園児と一緒にパンジーの苗を植える活動を行った。OATアグリオの方々も協力してくださった。



7 クリーンセンターの見学

4年生がクリーンセンターを見学し、係の方へインタビューをして、センターの役割を知るとともに、自分たちにできることを考えた。



8 資源ゴミの回収

P T A環境委員会が年4回、校区の資源ゴミ回収を行っている。児童も多数参加し、保護者と協力して活動している。



なると環境スクール活動報告書

学 校 名	明 神 小 学 校			
活 動 実 績				
項 目	実 施 内 容	実施時期	対 象	備 考
○EM液活用	○芝さんをお招きし，EM液やEM団子の作り方を教わり，EM液を使用したプール清掃やトイレ清掃を行った。 芝商事(株)：(株)EM研究所と代理店を結びEMを通して環境問題や自然農法や健康についての活動に取り組んでいる。	5月 6月	5年 6年	芝商事
○資源ごみ回収	○資源ゴミ回収をPTA，地域，学校で行い，資源保護に努めた。	8月	全校	徳島新聞瀬戸専売所
○緑のカーテン	○ゴーヤのカーテンづくりを通して，地球温暖化について理解し，地球環境にやさしい生活を考えた。	5月 9月	5年	徳島新聞 中公園
○エコプロジェクト標語応募	○環境委員会で，今日から始めるエコプロジェクトの標語を考えさせる。	10月	環境委員会	徳島新聞
○学校周辺の清掃作業	○小学校周辺の公園をはじめ，地域の清掃をし，環境美化に努めるとともに地域を大切にする意識を育てる。	11月	〃	中公園
○節電	○学校全体で，電気使用量を減らすように，心がけている。	通年	全校	
○節水	○学校全体で，水道使用量を減らすように，心がけている。	通年	全校	
成 果				
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの実践活動を通して，環境に対する興味関心が高まっている。 ・5年生が総合的な学習で，環境問題で取り組んだことを，全体にポスターで知らせることができた。 				
次期計画への課題・問題点				
<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会が全校生に呼びかけ，節水・節電の意識付けができてきている。続けて，全校生で取り組んでいきたい。 				

実施状況報告書

1. ゴーヤの植え付け・緑のカーテン作り



2. EM液の活用

- ① 5月末、5年生が芝商事さんの指導のもと、プールやトイレ清掃等に使用するEM液を作りました。
- ② EM液を活用し、5年生、6年生がプール清掃をしました。



- ## 3. 5年生が総合的な学習で環境学習 (EM液の作り方や活用方法について) 自分たちでできることや考えたことを、 した。

ポスターにして校内に呼びかけました。



- ## 4. 環境委員会が地域の公園清掃

中公園の清掃作業にいきました。
全校生に公園での美化を呼びかけま



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市瀬戸小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
・ 目標の達成	・ 全校集会で、「物を大切に使うこと」「リサイクルの大切さ」について児童に説明をした。	4月	全児童	
・ 植物との関わり	・ 全児童が、日替わりで担当し、学級園の水やりを行った。	通年	全児童	
・ 愛校活動	・ 月1回、校舎内外の清掃活動を、異学年集団で行った。	通年	全児童	
・ EM 活性液	・ 米のとぎ汁を持参し、EM 菌を培養し、プール清掃を行った。	6月	全児童	
・ ごみの分別	・ 各教室に分別用のごみ箱を設置し、分別を徹底した。	通年	全児童 教職員	
・ リサイクル	・ ペットボトルのキャップを集め、市社会福祉協議会に依頼し、世界の子どもたちにポリオワクチンを贈るために役立てた。	通年	全児童 保護者 地域の方々	
	・ 使用済みの用紙で、裏面が再利用できる用紙は、再活用した。	通年	教職員	
	・ 使用済みの紙や段ボール・新聞紙は、リサイクル業者に依頼し回収してもらった。	通年	教職員	
・ 節電	・ 使っていない教室やトイレの照明器具・テレビの待機電源をこまめに切った。	通年	全児童 教職員	
・ 節水	・ 前年度の毎月水使用量と比べながら、使用量を抑えるようにした。	通年	全児童	
・ 環境学習	・ 毎月の電気・水の使用量をグラフ化し環境コーナーに掲示した。	通年	6年生	

成 果

- ・ごみの分別やリサイクル，ごみ問題に対する関心が高まった。また，家庭でも分別リサイクルをしようとする意欲が高まった。
- ・ペットボトルキャップを回収することによって，世界の国々の状況や実態について，興味・関心をもつことができた。
- ・活動の様子を写真を掲示したり，電気・水の使用量をグラフ化したりすることで，環境や節電・節水に対する意識が高まり，実践化することができた。

次期計画への課題・問題点

- ・ペットボトルキャップだけでなく，様々な資源ごみのリサイクルに努めたい。
- ・環境問題について，保護者や地域の方々へ，啓発を図りたい。

※ 環境学習・環境保全等の活動内容写真



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		大津西小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
ごみの分別	燃えるごみ・燃えないごみ等のごみ箱を整備し、ごみの分別の意欲を高める継続した。	常時	全学年	
節電・節水	数値をグラフ化し児童の目につくところに掲示した。	常時	全学年	
希少種「カワバタモロコ」の飼育	環境保全活動の一環として、絶滅危惧種カワバタモロコの飼育を継続した。	常時	全学年	
野菜の苗の植え付け	学級園で栽培を行った。	5月～8月	2年・特別支援・5年	
奉仕作業	親子で環境美化奉仕作業を行った。	5月8日	全学年 P T A	
資源ごみ回収	地域にも呼びかけ新聞紙・段ボールなどを集めておき、業者に回収を依頼した。	6月12日	全学年 地域住民	
サツマイモの苗の植付けと収穫	保護者の協力を得て、サツマイモの植え付けから収穫までの栽培活動を全校で実施した。	6月 ～10月	全学年・ P T A	
プール掃除	排水時には事前にEM液を活用し、できるだけきれいな水を流すようにした。	6月	5・6年	
「鳴門市の自然」に関する研修会	県農林水産課と徳島大学の講師により鳴門市に関係する絶滅危惧種の生き物に関する研修会の会場となった。	8月	市内環境部 教員及び本校 職員	
池の魚を確認	低学年が校内池の魚を網ですくう体験をした。	9月	1年2年	
クリーンセンター及び変電所見学	環境に関する施設を見学することでゴミ処理やクリーンエネルギーについて学習した。	10月	4年	
JA 松茂大津見学	地域の農産物や自然環境について学習した。	11月	3年	
校内の生け花	玄関やトイレを花で飾り環境美化を目指した。	常時	本校職員	児童館 協力

成 果

- ・環境委員会が活動の主となり、朝会や委員会活動の時間に、ごみの分別、減量化やリサイクル、節電・節水を呼びかけることで環境改善に関する意識を継続させている。
- ・資源ゴミ回収時に、学校だけでなく地域にも呼びかけて、たくさんの資源ゴミを回収することができ、本年度も継続して協力を得られた。
- ・校内の子どもたちのよく通る壁面に、前年度と比較した電気・水道の使用量グラフを掲示することで、大切に使うことへの意識をもたせることができた。
- ・絶滅危惧（きぐ）指定を受ける希少種カワバタモロコの飼育をしたり、地域の自然観察をしたりすることで、地元の自然の素晴らしさに気付き、児童の環境保全に対する意識を高めることができた。
- ・学級や栽培委員会の活動により草花の栽培を行い、積極的に学校を美しくしようとする気持ちが高まってきた。
- ・地域や保護者と協力して、栽培学習などを行えた。

次期計画への課題・問題点

- ・教室にエアコンが設置されたことで、電気の消費量も増えると予想する。エネルギーを無駄にしない工夫を考えて、教職員も児童も環境に対する意識をさらに高めることができるように、日々の生活で継続できることが今後はさらに必要となる。
- ・玄関前の池は秋から亀裂のため水が干上がってしまい、ビオトープとして活用できなくなった。今後はどうするかを検討する必要がある。
- ・新聞広告や保護者宛の手紙で資源ゴミ回収をよびかけているが、今後もホームページも活用して環境教育に関する取組について地域へ呼びかけていく努力を継続することが大切である。
- ・本年度は、カワバタモロコの産卵に成功したが、毎年継続するには丁寧な世話が必要となる。児童だけでは難しいが、給食室の対応のため学校内が人手不足になり今後の飼育活動も危ぶまれる。

実施状況報告書



環境教育に関する 掲示板の様子



モロコの卵確認中



産卵のために魚を選ぶ



今年は40匹を超えた



地域の用水へ放流も協力



資源ゴミ回収の様子



クリーンセンター見学



全校で学校の畑のサツマイモの収穫

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市堀江北小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ 行動方針の説明	○ 行動方針を児童玄関に掲示した。	4月	全校	環境委員会
	○ 電気と水の使用量をグラフ化し、全児童の目につくところへ掲示している。	4月	全校	環境委員会
○ 節電・節水	○ エコ活動を呼びかける標語を作成し、校舎内に表示したり、朝会で全校児童に節電節水をよびかけたりした。	5月	全校	環境委員会
○ 校内・地域における環境教育・啓発	○ 古紙利用・段ボール回収を行った。	通年	全校地域	環境委員会
	○ 鳴門市クリーンセンターを見学し、ゴミの焼却やりサイクルについての学習を行った。	5月	4年	バス遠足
	○ 4年生で環境出前授業を行い、地球温暖化や自然エネルギーについて学習した。	10月	4年	
	○ グリーンカーテンを作り、節電への関心・意識を高めた。	5月～ 11月	全校	環境委員会
	○ 学校で育てたゴーヤの苗を希望する家庭に配布し、節電への関心・意欲を高めた。	6月	保護者	4年
	○ 牛乳パックを再利用して、鉛筆立てを制作した。	12月	4,5,6年	ものづくりクラブ
	○ CO2CO2（コツコツ）コンテストに参加。	11月	全校	環境委員会
	○ 児童玄関にある分別箱の整理整頓を行う。	通年	全校	環境委員会
成 果				
<p>○ 学校全体で取り組むことにより、児童や教職員の節水・節電・ゴミの分別等に対する意識が高まった。</p> <p>○ 環境保全活動に向けた様々な取り組みを通して、児童の環境保全に対する意識が高まってきた。</p> <p>○ 学校だよりや苗の配布、校内掲示、学校HPを通して、学校での環境ISOの活動の様子を保護者や地域の人に伝えることができた。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>○ ホームページや学校便りなどを使いさらに情報を発信し、学校での環境ISOの活動をより多くの人に広めていきたい。</p> <p>○ 「虫のすむ豊かな自然を守るために、環境にやさしい学校づくりをめざして！」のテーマにせまる活動になるように工夫していきたい。</p> <p>○ 鳴門市における「なると環境スクール」の取り組みと「新 学校版環境ISO」との取り組みを連動させ、より充実した取り組みになるよう計画していきたい。</p>				

平成29年度 「なると環境スクール」における活動

環境目標・テーマ

虫のすむ豊かな自然を守るために、環境にやさしい学校づくりをめざして！

- 1 「節電」「節水」「リサイクル」に積極的に取り組む児童の育成
- 2 地域とともに環境美化・保全に取り組む児童の育成
- 3 地域の環境保全活動から学び、環境問題に関心を持ち、地域を愛する心豊かな児童の育成

○取り組み



「グリーンカーテン作り」



「節電・節水の呼びかけ」



「クリーンセンターの見学」



「EM を使用してのプール清掃」



「牛乳パックのリサイクル」



「環境標語の掲示」



「4年生環境新聞作り」



「4年生の環境出前学習」



「段ボール回収」

なると環境スクール活動報告書

項目	実施内容	実施時期	対象	備考
・活動テーマの掲示	・活動テーマを廊下に掲示する。	通年	全学年 職員	
・活動内容の明確化	・委員会活動を活発に行い、今の課題を明確化し、全学年で共通理解を図る。	通年	全学年 職員	
・節電・節水	・使っていない教室やトイレの照明器具をこまめに消したり、水道の蛇口を閉める。 ・夏季のエアコンの温度を高め設定し、温度を上げたり下げたりしない。	通年	全学年 職員	
・愛校タイム	・隔週火曜日、縦割班で校内の美化作業を行う。	通年	全学年 職員	
・クリーンセンターの見学	・ゴミ処理について話を聞いたり、見学したりする。	5月	4年	
・プールの清掃	・EMを利用してプールの清掃を行う。	6月	4～6年	
・浄水場の見学	・市民が安心して飲める水を作る仕事について学ぶ。	6月	4年	


成 果

- ・ゴミの分別やリサイクル、節電・節水などこれまでの取り組みが子ども・職員共に定着してきている。
- ・1年間を通して、縦割り班活動で愛校作業を実施しており、子どもたちも積極的に参加することで美化意識も高まっている。
- ・今年度も浄水場やリサイクルセンターの見学を通して、子どもたちの環境に対する意識が高まってきている。

次期計画への課題・問題点

- ・学校内の誰もいない場所の電気は消えていることが多いが、家庭では意識が薄い子どもも多く、家庭でも環境への意識ももてるように呼びかける。
- ・学校から家庭や地域への発信の方法を工夫し、子どもたちの生活全体で環境保全のための行動を定着させていく。
- ・職員会で節電や節水を呼びかけ、掲示物でも視覚的に意識できるように工夫し、教職員の節電・節水及びミスプリントの紙や古封筒の再利用に関する意識をさらに向上させたい。

なると環境スクール活動報告書

学校(園)名	板東小学校			
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
・ゴミのリサイクル ・トイレ清掃	・呼びかけやポスター掲示を行い,ゴミの分別・ゴミの削減を徹底する。	通年	全校	整美委員会
	・EM 活性液を使ってトイレ掃除を行う。 	通年	6年	
・全校美化活動	・毎月第1水曜日にスマイル班で校内の美化作業をする。 	通年	全校	
・ペットボトルを再利用したじょうろを使っての栽培	・ペットボトル容器を再利用して作ったじょうろを使って, 植物や野菜を育てる。	通年	1・2年	
・ペットボトルのふたのリサイクル	・ペットボトルのふたのリサイクルを全校に呼びかけ, リサイクルに生かす。	通年	全校	ボランティア
・節電・節水	・学校全体で電気使用量と水使用量を削減する。	通年	全校	ア委員会
成 果				
<p>ポスター掲示をしたので, ゴミに対する意識を視覚化することができた。それによって, 学校の中でゴミを分別・削減しようという気持ちを高めることができた。ペットボトルを再利用してじょうろを作ったことで, “資源は生まれ変わる” ということを実感することができた。そのことによって, 牛乳パック等の他の資源も大切にしようとする意識が芽生えている。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>次期計画では, 節電・節水にも積極的に取り組んでいきたい。明確な目標があった方が, より効果的であることが分かった。節電・節水については, 現在の使用量をデータ化するなどして, 数値で表した目標を示すことが必要である。その目標を示したポスターを教室や水道の付近に掲示にするなどしていきたい。</p>				